

特別支援学校就職支援総合事業 （「働きたい」支援プロジェクト）

特別支援教育課

1 事業目的

特別支援学校高等部生徒の「働きたい」という意欲を育て、「働く力」を高めるための就職支援を充実させることによって、低迷する就職希望率及び就職率を引き上げ、卒業後の社会自立・社会参加を目指す。

2 現状と課題

<現状と課題> 低迷する就職希望率・就職率 （出典 H28 厚労省 H26 文科省資料）

	長野県	広島県	全国
就職希望率 (H27)	23.4% (全国 45 位)	45.8%	34.6%
就職率 (H26)	20.2% (全国 42 位)	39.8%	28.8%

<課題の要因>

- 卒業後、更に力をつけてから就職したいと希望する生徒や家庭の増加
- 生徒の実態が多様化している中、就職を希望する生徒に対応した学習活動改善の遅れ
- 校内の学習における企業との連携の弱さ
- 生徒が日頃の学習の成果を実感する機会の不足



広島県に学ぶ 就職率が全国最下位から全国トップクラスに

3 事業内容

特別支援学校技能検定を創設・実施することで、企業との連携を強化し就職希望率・就職率をアップ

	学校	企業・団体（外部人材）
新 特別支援 学校 技能検定	・清掃*技能検定の創設 （1～10級の認定基準） ・外部講師を導入した技能検定に向けた 学習をモデル校4校に導入 ・公開で技能検定実施 プロによる審査、認定証の授与	・技能検定の認定基準決定 ・各校での技能指導 ・教職員研修会での指導者 講習 ・審査協力
職業教育 の充実	・高等部の教育課程の見直し ・企業のニーズや社会の実状を踏まえた 学習活動の改善	・企業の視点からの提言
継 就労コーディネ ーターの配置	特別支援学校配置（4人） ○実習先の開拓 ○就労へ向けた企業への橋渡し 等	○現場実習の受入れ・協力 ○求人検討

連携強化

*「清掃」業種の選択理由：進路先の職種として多い。各校で授業の場所を用意しやすい。
授業の場所を地域に広げることが可能。

4 平成29年度予算額 1249万3千円